

□第 13 回鋼構造実験見学会

「孔あけ加工方法の違いによるはし抜け破断耐力に関する試験」

高力ボルト摩擦接合のボルト孔の加工に関しては、建築工事標準仕様書 JASS6 においてドリルあけと規定されているが、近年、レーザーによる孔あけ加工も精度的に実用の域に達してきているとされている。2013 年の第 11 回鋼構造実験見学会では、接合部の正味断面位置で破断する場合の引張耐力について、レーザー加工の孔あけと、従来のドリル加工による場合と比較確認する試験を行った。

今回の実験見学会においては、接合部がはし抜け破断する場合について、レーザー加工の孔あけと、従来のドリル加工による場合と比較確認する試験を行う。

使用鋼材は SN400B。高力ボルトは摩擦接合用トルシア形(S10T) M20 を使用する。摩擦面はサンダー掛けの後、発錆剤塗布とする。

主催：日本建築学会中国支部，日本鉄鋼連盟

共催：日本建築構造技術者協会

協賛：協同組合広島県鉄構工業会

会場：広島工業大学構造実験室（広島市佐伯区三宅 2-1-1）

講師：清水斉（広島工業大学）

日時：10 月 24 日（土） 13:00～16:00

定員・会費：50 名・無料

対象：本会・協賛団体会員，建築技術者，大学院生，大学生

問合せ・申込先：広島工業大学 建築工学科

清水斉 h.shimizu.tn@it-hiroshima.ac.jp